



どっか行きたくなっちゃうよ

神奈川 松井利夫さん

「東

海道線に時々乗るくらい」。

グループホームに入居当初はそう聞いていましたが、いまや利夫さんは一人旅のプロ。常に自分の「どっか」を探しています。

最初は、通院付き添い時に移動支援を利用して寄っていた銭湯でした。「ホームの水光熱費を節約するため」「配膳当番をさばるため」という理由で一人で行くようになり、その頃から気の合う人には「どっか行きたくなっちゃうよ」と話していました。初めて県外に遠出した富士急ハイランドへは、職員と綿密に計画を立て、ポイントごとに連絡をしてもらい無事に帰ってくることができました。それから6年あまり。利夫さんは毎月のようにどこかしらに出掛けます。日帰り旅行は自分で計画を立てていますが、どうやって行き先や旅程を調べているのか教えてくれませんか。いまはスマホを使っているのかもし

はどうしていたのか。広告？ 図書

館？ 立ち読み？ テレビ？ イベントや交通手段、料金プランなどいろいろ詳しいのですが、情報源は謎です。

口数の少ない利夫さんですが、実はたくさんの人たちとメールでつながっているようです。職場の人たちやグループホーム職員などに、自分の好きな「どっか」の情報や旅先での「実況中継」を送信。さらには、その日の出来事や会った相手、その人の好きな芸能人など内容はさまざま。日に数十通は送られてきます。一人旅をはじめからメールの相手も格段に増えている様子です。

グループホームでの旅行では、行き先が利夫さんの行ったことのある温泉地で、みんな利夫さんを頼りに。無言で案内する利夫さんは、みんなから「おう、まっつんすごいよ。こんなこと知ってんの」と言われて誇らしげでした。一人旅好きでも一人が好きというだけではない利夫さ

さんは、イベントや飲み会にも積極的に参加します。グループホームの「影のアイドル」であり、本人もそのポジションを狙っているのかもしれない。

数年前に妹がスペインに行ったことがきっかけなのか、「スペインに行きたくなっちゃうよ」とメールがありました。最近「ナマステ」とメールが。2019年のアジア知的障害会議でネパール行きを考えているようです。利夫さんの「どっか」は、果てしなく続きます。(NPO 法人 UCH 川瀬悦)

利夫さんの最近の「どっか」

10月 8日	小田原・かまぼこの里
12日	八王子・日野 オートプラザ博物館
15日	竜泉寺・横浜鶴ヶ峰店
22日	竜泉寺・八王子
11月 3日	藤沢・湘南台温泉
5日	イオンシネマ茅ヶ崎 『ラストレシビ』
19日	箱根ポーラ美術館
12月10日	秦野・湯花楽